

■ 代表挨拶

新型コロナウイルスの感染のニュースから早半年が経ちました。この間、世界中で様々な出来事がありました。ここまで社会の有り様が変わるということはなかったと思います。

ゆどうふの活動の中でも、コロナの影響で人が集まるグループワークを中止にしたり、カウンセリングをオンラインに切り替えたり、孤立感を深めている方への電話&メール相談「福豆ライン」を開設する等の対策をしてきました。



私たちの取り組みは、小山のフリースペースを拠点として、基本的に「人と人がつながること」を前提にしています。その中で思うように集まることができない日々は何だか大事なところに風穴が空いたような感覚を覚える日々でした。

フリースペースを約2ヶ月間臨時閉所し、緊急事態宣言が解除された後に開所した初日、フリースペースに来た若者の顔、伝わる高揚感を忘れることができません。この先テクノロジーが発展しても、人と人とが会わなくても万事済むような社会が来るとは思いません。部分的に私たちの気持ちや生活を支えてくれることはあっても、私たちの内から湧き出る思いを満たすのは難しいと思います。大事なものは変わらず大事なままでしょう。

今の状況は、私たちが生きることや自分や他人の命とどう向き合うかを真剣に考える機会なのではないかと思っています。

日々試行錯誤する先にきっと今までより豊かな人や社会のあり方があることを信じ、歩んでいきたいと思っています。

■ ゆどうふが「バリバラ」の番組内で紹介されました！

8月27日、NHKのEテレの番組「バリバラ」でゆどうふが紹介されました。番組ではフリースペースの様子や利用メンバーのインタビューが放映されました。

ゆどうふでもフリースペースで番組鑑賞会を行い、利用メンバー、ボランティア、おこしいただいた方皆で番組テーマである「ひきこもり」についての意見交換をしました。

放映後、番組を観たというご連絡や利用に関するお問い合わせが多く寄せられ、多くの方に情報が届いたことを嬉しく思っています。

観てくださった皆様、ありがとうございました。





フリースペースについて紹介します!



★フリースペースとは?

ひきこもり等でお悩みの10代～40代の若者が、自分らしく生活をしていくための一歩一歩をゆっくり自分のペースで考えて頂く場所です。

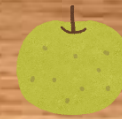
ゆどうふのフリースペースは京王相模原線「多摩境駅」から徒歩5分のところにあります。
風通しの良い広々とした空間で過ごせるようになっています。

月曜、水曜、金曜、土曜の13時～16時に開所しています。
(現在コロナウイルスの影響で開所時間を短縮しております。)
日中行うプログラムや外出の企画は、フリースペースにいるメンバーで話し合っています。

フリースペースでは、自由にお話したり、本を読んだり音楽を聞いたり好きなことをしながら過ごしています。



フリースペースの活動報告



★WALKING SINGING@小山内裏公園♪

8/24と9/16に実施した外出プログラムです。

居場所から小山内裏公園へ。途中長い階段や坂道があつて息があがったのは私だけでしょうか。

両日ともに天気に恵まれて、青空の下に森のさえずりもふき飛ばす、ゆどうふメンバーによる歌声が響きました。

散歩と歌うことを中心にサッカーやウォーキングなど、これからも外出プログラムでコロナ禍で人との距離を保ちつつ、心の距離は近づいてゆけたらいいなあと思いました。



★寺フェス2020秋の陣 にゆどうふも出展しました!

9月19日、20日、寺フェスに参加しました!

新型コロナウイルスのために皆さんマスクをしながらでしたが、たくさんの方が参加されていました。

ゆどうふは射的とスーパーボールくじのお店を出店!
子供たちが夢中で輪ゴム鉄砲を打ったり、くじを引いたりしてくれました!

スタッフの方たちも積極的に周りに声をかけたり、射的の仕方を教えてあげたりして、交流を深めていました!

疲れましたが、とても充実した一日でした♪



わらしべワークプロジェクトの活動報告

今年度より開始したわらしべワークプロジェクト。多様な若者のもつそれぞれの一本の藁が、人や地域との交流、さまざまな経験を経て、いつの間にか自分にとってかけがえのないものになってほしい、という願いを込めたプロジェクトです。

4～5月はコロナウィルスの影響により活動を自粛しましたが、6月より徐々に始動しています！

(本事業は公益財団法人トヨタ財団の助成を受けて実施しています)



ゆどうふを利用している
若者が作ったロゴです！

草刈りワークに参加しました！

8月1日、下馬場町内会の草刈りワークに参加しました！

炎天下の中みんなで汗を流しながら作業しました！大変でしたが久しぶりに外で体を動かして、いい気分転換にもなりました。



田中正治さん
(下馬場町内会副会長)

町内の尾根道から町田街道に抜ける坂道道路の草刈り、暑さに負けないで頑張ってくれました。近隣の人も参加して、若者達との共同作業を楽しくできたのすごく喜んでます。また、何かを一緒にやりましょう。



株式会社玉川総合研究所よりリモートワークを紹介して頂きました！

株式会社玉川総合研究所より、在宅でのパソコン入力のワークをご紹介いただきました。現在増えているといわれているリモートワークのお仕事です。この機会にリモートワークのノウハウが身につけば、ということで若者にも人気が高いです。

秋田史津香さん
(株式会社フォース)

8月よりわらしべワークプロジェクトに参加させていただいております株式会社フォースの秋田と申します。BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）として企業のプロジェクトの一部を担っている会社です。皆さん未経験の分野からの参加ですが、一歩ずつ業務を覚えてくださりとても助かっています。携わってくださる方が長く続けていただけるようにご自身の気持ちを一番大切にしています。自分の気持ちに素直に働ける環境を作りたいと願っています。



わらしべワークプロジェクト サポーター研修を実施しました！

8月22日にサポーター研修を実施しました！

最初にわらしべワークプロジェクトの活動内容、サポーターの役割について代表の辻岡より話がありました。次に、町田市社会福祉協議会の土谷さんによる初めてのボランティア講座がありました。

活動する上でのポイントを聞き、相手主体で考えて活動していくこと、長く続けるために無理せず自分のペースで活動していくことが大切だと感じました。

最後に堺第二高齢者支援センターの鈴木さんから認知症サポーター養成講座を受けました。認知症について学んだ後、グループワークを行い、認知症の方と関わる際どのような声かけをすれば良いか皆で考えました。

サポーターは、活動に参加する若者をサポートしていく役割、そして地域の方々のお困りごとを若者とともに解決していく大切な役割を担っているのだと感じました。



現在わらしべワークプロジェクトでは、

- ① エントリーする若者
 - ② 作業依頼をしてくださる地域の個人様、団体様
- を募集しています。
詳しくは法人までお問い合わせ下さい。
よろしくお願ひ致します。



ゆどうふを利用している
若者によるデザイン

ボランティアスタッフ紹介

今年度より入られた
ボランティアスタッフを紹介します。



飯倉 彩可

所属 若者支援事業部
趣味 山歩き、コンビニスイーツを
チェックすること
一言 楽しんで参加したいと
思います。よろしくお願ひします。



高倉 雅子

所属 若者支援事業部
趣味 旅行、映画及び
音楽鑑賞、読書
一言 家が遠く多摩境にはなかなか
伺えませんが、皆さんとお会いするの
を楽しみにしています。



田中 南

所属 若者支援事業部
趣味 料理、英語
一言 ゆどうふのボランティアを通し
て私は心の大切さを学びました。
臨床心理士になりたいです。



寺生 祐樹

所属 若者支援事業部
趣味 音楽や創作
一言 みんなで楽しくお話できたら
いいなー
探究心が強いので色々なこと教えて
ください!



矢田 信久

所属 若者支援事業部
趣味 アイススケート
インラインスケート、ジョギング
まちだガールズ・クワイア
一言 スポーツと音楽、笑顔と
おしゃべり

■多様な若者が生き生きできる社会へ ～ご入会/寄附のお願い～
当法人ではただいま活動を支援して下さる正会員/賛助会員を募集しております。

- ◆正会員(個人) 入会費 1,000円 年会費 3,000円
- ◆賛助会員(個人) 入会費 1,000円 年会費 5,000円
- ◆団体賛助会員 入会費 5,000円 年会費 20,000円

※ご入会希望の方は下記連絡先まで電話、メールにて
ご連絡ください。

【振込先】

きらぼし銀行 町田支店 普通口座 口座番号：1823689
口座名義：トクテイヒエイリカツドウホウジンユドウフ
リジチョウツジオカヒデオ(トクヒ)ユドウフ

【ご入会/寄附のご報告】 ～御礼申し上げます～

- ・入会
秋田 史津香様 賛助会員としてご入会
田中 正治様 正会員としてご入会
- ・寄附
大坂 旭様
- ・寄贈
富山 裕嗣様よりDIY工具収納BOXの
ご寄贈を頂きました。
田中 正治様より麻製の椅子3脚の
ご寄贈を頂きました。

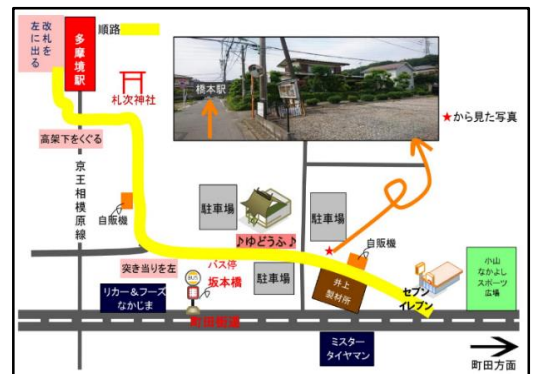
■NPO法人ゆどうふ

ひきこもり等生きづらさを抱えた40代までの若者とご家族の
支援活動を行なっている法人です。

東京都町田市小山にあるフリースペースの運営、訪問支援、
臨床心理士によるカウンセリング、その他社会参加体験事業
を行う「若者支援事業」と、

音楽イベントの企画をはじめとした文化活動、アサーション
ワークショップ等を行う「自己表現サポート事業」を実施し、

「一人ひとりが主体として自分らしさを追求することが自然
に認められてる社会の実現」を目指して日々活動しています。



〒194-0212
東京都町田市小山町2595-1

TEL 042-814-6675
MAIL info@yudofu.or.jp
HP yudofu.or.jp

@info_yudofu で検索

<https://www.facebook.com/npoyudofu>